

平成 25 年度窯業同窓会総会議事録

- I. 期日 平成 25 年 5 月 26 日(日) 15 : 00~16 : 20
- II. 場所 東京工業大学 大岡山南 7 号館 201 講義室
- III. 参加者 約 50 名
- IV. 内容

今年も昨年同様、大学のホームカミングデーにあわせて開催され、懇親会は全体交流会会場で行われた。

1. 開会挨拶

川村副会長の開会挨拶及び司会で進められた。

2. 木村会長挨拶

・同窓会の使命として、昨年 5 月 25 日開催の総会ならびに交流会。9 月 27 日に学生主体とした見学会を行い、また、学生・学科の支援として、先の見学会、企業セミナー、を行った。また、学科説明会、謝恩送別会に補助し、参加した。

・大学への後援としては、大学のホームカミングデーに参加した。

・また、同窓意識の涵養として、広報活動を活発化し、HP の活用、ウェブによる名簿管理の徹底を目指し、活動している。現在の総会案内数は 1579 名(内 38 名は返送)、新規登録者数 33 名である。

・支部に対しては、支部の立ち上げ、支部活動を支援している。

3. 定例行事

3.1. 物故者哀悼

本会総会までにお亡くなりになられた 19 名の方々の紹介があり、冥福をお祈りし、黙祷を奉げた。19 名の方々は以下の通りです。

卒年	氏名	ご逝去日	卒年	氏名	ご逝去日
1943	山本準之助	H25.03.13	1943	稲松 博	H24.01.02
1943	溝上 登一	H24.06.28	1944	後藤 九五	H18.05.28
1944	半谷 哲男	H24.10.16	1944	福井 博	H24.09.22
1946	岡野 郁郎	H24.08.01	1947	遠藤 幸雄	H25.01.24
1948	本間 康平	H25.05	1952	飯塚常太郎	H24.10
1953	今野 太三	H23.02.14	1953	山本 博孝	H25.02.01
1953	桜井 宣隆	H25.03.08	1953	中村 紀夫	H25.05.04
1963	伊藤三喜雄	H24.02.28	1973	伊藤 正彦	H24.07.20
—	杉浦 孝三	H24.12.02			

3.2. 各賞受賞者紹介

・日本セラミックス協会混

進歩賞 磯部敏広様(東京工業大学)

「無機粒子表面に働く相互作用の解析・制御と環境機能材料への応用」

協会誌優秀論文賞 山本直喜、磯部敏広、松下祥子、中島章様(東京工業大学)

「チタン酸バリウムを選択溶解により得られるルチル微粉末への銅担持による可視光応答型光触媒の作成と評価」

・協会誌優秀総説賞 船曳富士、神谷利夫、細野秀夫様(東京工業大学)

「アモルファス酸化物におけるドーピング効果」

・第 51 回セラミックス基礎科学討論会

優秀発表賞 齋藤潮美様(東京工業大学)

・第 25 年度日本化学会コロイド及び界面化学部門

科学奨励賞 松下祥子様 (東京工業大学)

「近接場光学への応用を念頭にしたコロイド結晶研究」

・The 6th International Conference on the Science and Technology for Advanced Ceramics, Silver

Poster Award:柳澤光亮様」(東京工業大学)

- ・手島記念論文賞(博士論文賞) 古田勤様(東京工業大学)
- ・第56回生活と環境全国大会 平成24年度廃棄物・浄化槽研究開発功労者『環境大臣表彰』尾花博様(太平洋セメント(株))

3.3. セラミックス研究奨励賞を授与

- ・優秀学士論文賞
松澤一輝君(坂井・宮内研)
「分子構造の異なるポリカルボン酸系分散材を添加したセメントペーストの流動性に及ぼす硫酸イオンとフッ化物イオンの影響」
山田尚樹君(田中・生駒研)
「水酸アパタイト/魚コラーゲン複合繊維を用いた機能傾斜多孔体の作成」

・セラミック・マイクロワールド賞

- 金賞 吉川滉一郎(中島・松下研) 「シリカ-スノークリスタル」
- 銀賞 貫井悠矢君(坂井・宮内研) 「微笑世界から愛をこめて」

3.4. 卒業50周年記念者 記念品贈呈

卒業50周年(昭和38年卒業)をお祝いし、記念品として益子焼窯元村田浩氏の作品「糖白釉山帰来文花入」を木村会長より出席された4名(当日)に贈呈された。代表し、太田黒氏のご挨拶があった。

出席者：太田黒宣人様、中川順吉様、山根正之様、山岸千丈様

欠席者：井関孝善様、田中治彦様、沖川伸司様

このほか連絡の取れない方：巖浩一郎様がいらっしゃいます。

なお、平成23年より、直近5年以上の会費納入を記念品贈呈の条件にしています。

4. 最近の学内の動き

4.1. 大岡山1(無機材料工学科)

学科長の坂井悦郎教授より紹介された。

- ・職員の動き：柴田修一教授 ご退職
- ・学部1年生の志望状況：工学部2類の1年生から志望押されるが、人気第1の学科であり、ロゴマークのついたボールペンを配ることなども行っている。
- ・カリキュラムの改正：セラミックスを基本として材料科学・材料工学が系統的に学習できるように改定して7年程度になり順調に進んでいる。環境、エネルギーと安全・安心を中心に、生体材料、電子材料、光学材料、エネルギー材料、社会環境材料、地球環境材料の材料開発から応用までの研究・技術開発を行っている。
- ・学生の就職状況：同窓会の支援も有り、現在は100%の状況である。学部での就職は0で、現学生の構成は、B2(37), B3(32), (B4(37), M1(25), M2(25), D(10:社会人4、留学生4、学部卒2)という状況である。

4.2. 大岡山2(原子炉工学研究所)

研究所長(4月より)矢野豊彦教授より紹介された。

- ・昭和31年設立されて以来の研究所であり、現在、教授12、准教授11、助教14、その他スタッフいれ約50人で構成されている。教授、准教授それぞれが研究室を持っており、その中で材料系は矢野教授の研究室のみとのこと。
- ・研究では、原子力安全研究、革新的原子力システム研究、アクチノイドマネジメント研究、放射線医療応用研究がプロジェクト的に、また、その他広い分野の基盤研究が行われている。
- ・文部科学省の21世紀COEプログラムやリーディング大学院プログラムにより、原子力教育に関する大きな支援を受けている。その他にも、医療関係の技術教育プログラムも進められている。
- ・長い間3.5億円規模の研究費だったが、COE開始に前後して10~12億円/年規模の研究費となる。現在は7~8億円の規模となっている。

4.3. 応用セラミックス研究所

伊藤満研究所長より紹介された。11名の教授8名の准教授建築系5名から構成されており、学

生は、学部生 6 名、修士 78 名、博士 46 名、ポスドク 26 名である。セキュアマテリアル研究センターも併設されており、また、全国共同利用研究拠点でもあり、年間 100 件程度の共同研究がなされている。建物(居室・実験室)は、R3, J2, J1, S2, G5 等と分散している。

5. 平成 24 年度事業報告ならびに決算報告

5.1. 平成 24 年度事業報告：金古副会長より、以下の通り報告され、了承された。

- ・ H24 年度総会 5/27、西 8 号館 W822 号室
- ・ 見学会 9/27 (参加者 46 名、学生 29 名、教職員 2 名、OB 他 15 名)
 - 日本板硝子株式会社 千葉工場
 - 新日本製鐵株式会社 君津製鐵所
- ・ 第 1 回企業セミナー 説明会・懇親会 12/5
 - コーニングジャパン(株)、(公財) 鉄道総合技術研究所
 - (株)デンソー、トヨタ自動車(株)、電気化学工業(株)、(株)IHI
- ・ 第 2 回企業セミナー 説明会・懇親会 12/12
 - (株)村田製作所、(株)ノリタケカンパニーリミテッド、JX 日鉱日石金属(株)
 - 太平洋セメント(株)、昭和電工(株)、パナソニック(株)
- ・ 無機材料工学科謝恩会送別会協賛 3/1
- ・ 印刷物としての名簿は 2014 年発行の予定
- ・ ウェブによる名簿の活用・管理：広報担当、江上副会長
- ・ 幹事会(5/11、6/25、8/30、10/16、臨時 12/5、1/22、2/21)

5.2. 平成 24 年度会計報告：

決算概略表は以下の通り、中川副会長より報告され、了承された。

(単位 円)

項 目	23 年度	24 年度予算	24 年度決算
収入	1,912,738	1,740,000	1,496,661
年会費	1,478,500	1,500,000	1,256,500
総会・懇親会費	210,000		
広告・セミナー賛助金	224,238	240,000	240,161
前年度繰越金	5,721,534	5,976,495	5,976,495
合 計	7,634,272	7,716,495	7,473,156
支出	1,657,777	1,839,764	1,714,748
総会関係費	821,507	664,764	686,815
名簿関係費	2,475	175,000	175,420
本部関係費	584,708	600,000	581,232
支部関係費	249,087	400,000	271,281
次年度繰越金	5,976,495	5,876,731	5,758,408
合 計	7,634,272	7,716,495	7,473,156

6. 広報活動報告：江上副会長より報告され、了承された。

- ・ HP 用さくらネットのサーバー管理
- ・ HP へ各々の活動紹介、連絡、Facebook 立ち上げの紹介
- ・ HP から、異動届連絡の管理、名簿管理
- ・ メールングリストでの訃報、総会のご案内
- ・ ウェブによる名簿システムの紹介
- ・ 名簿管理者メニュー作成に向けて、意見・要望の集約
- ・ ウェブ上の管理と印刷出力書式の検討 ・マイページのデータ更新ログの保存
- ・ 会費納入データも管理属性に含める ・管理者画面のデザイン
- ・ サーバー上の PHP データをバックアップとして、リモート PC へ CSV 形式でダウンロード

- ・IT環境にない会員からの名簿に関する問い合わせについては、管理者が個々に対応
- ・福富さんより現行業務フローをヒアリング
- ・現行名簿管理用プロトタイプの説明有り：卒業年次、卒業研究室明等で検索可
現行プロトタイプのログイン条件：
サーバー：<http://www.greenbiz.co.jp/meibo/>
ユーザー名：meibo2012, パスワード：2012obiem
マイページ：登録番号（会員番号：19xxx または 20xxx）と 登録メールアドレス

7. 監査報告

錦織監事より、会計が適正に管理され、決算が適正であるとの報告がなされ、了承された。

8. 平成 25 年度事業計画ならびに予算

金古副会長より、・5月26日(当日)の総会、・9月予定の見学会、・11月開催予定の企業セミナー、・学科支援の強化、・支部活動支援、・名簿発行の準備（印刷とWEB）の計画が提案され了承された。
中川副会長より、25年度の予算が示され、了承された。予算は、収入に見合った支出で生まれ、会費収入の伸び悩みが懸念された。

9. 各支部報告

東海・北陸支部報告：奥山支部長の報告：10月に、木村会長の出席を得て支部総会が開催された。

関西支部報告：横川支部長の報告：昨年はLPGを使用した火力発電所(大阪ガス)の見学を行った。

中国・四国支部報告：亀島幹事の報告：12月2日の支部総会が、窯業同窓会の支部活動と重なり、6名の参加であった。本年度は講演会を取り入れる予定であるとの報告がなされた。

東北・北海道支部報告：林代表幹事の報告：昨年当支部を立ち上げ、12月5日に仙台で初総会、全体で30-40名の会員のうち10名程度が参加した。引き続き支部活動を勧めたいとの報告であった。

九州支部報告：榎本支部長欠席、昨年度中、会合は開かれなかったとのこと。

10. 卒業 20 年幹事報告

宮内雅浩（東工大無機材料 准教授）より、普段連絡不足であった同期の方々と久しぶりに連絡を取り合い、それぞれが、40代前半という会社等組織の中で、中堅として活躍していることの確認が取れた。多くの同期生が多方面で元気に活躍しているとの報告であった。

11. 役員人事：木村会長より、以下のような人事案が提案され、了承された。（太字：新任）

相談役：鈴木弘茂、山内尚隆、福長 脩、山岸千丈、木村脩七

顧問：古賀義根、赤尾洋二、各務芳樹、宇田川重和、宗宮重行、加藤誠軌
堀江鋭二、尾野幹也、猪俣吉三、石原幸正、錦織経治、尾島正男

会長：金古次雄

副会長：川村隆宏(総務)、中川順吉(会計)、安田榮一(企画)、江上浩二(広報)
水谷惟恭、岡田清、鶴見敬章(専攻長)、坂井悦郎(学科長)

監事：石原幸正、石川演慶

関東支部長：金古次雄(兼任)、東海・北陸支部長：奥山正彦

関西支部長：横川善之、中国・四国支部長：三宅道博

九州支部長：大熊 隼、東北・北海道支部長：中川善兵衛

幹事：高宮陽一、横川善之、後藤誠史、広瀬裕二、秋葉徳二、清家捷二、相馬隆雄、岡部淑夫、
石川演慶、尾花博、緒明博(総務)、矢野豊彦、原真一(会計)、石黒隆(広報)、端山潔、
有代匡、渡辺俊也、田中順三、舟窪浩、矢野哲司、榎本尚也、林滋生

事務局：福富路子

学生幹事

H17 矢沢亜希、中村明衣子

H18 石井智、滝沢佳世

H19 柿沼保夫、加茂崇支

H20 征矢大、米澤祐

H21 萩原学、清水麻衣
H23 宮本拓実、和泉達也
H25 松澤一輝、山岡尚樹

H22 立石貴志、猪木亮慶
H24 小林大斗、堆 仁美

12. 新会長挨拶：金古新会長より挨拶があった。

13. 閉会：川村副会長の挨拶で閉会した。

(その後、南7号館前で参加者全員の集合写真を撮り、交流会へと向かった。)

文責：後藤誠史